

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所bamboo		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2025年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月25日		～ 2025年2月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)による訪問支援。	・保育所のニーズに合わせて、訪問するスタッフを変更して対応している。	・専門職から保育所等に対する研修会の実施や使用出来るツールの紹介、適宜訪問の様子に対する情報提供書等の取り組みが見込まれる。
2	・簡便なツール(LINE等)で、連携が行える環境を作っている。	・LINE等で簡便なツールを用いて保育所等と連携を図るようになっている。ただ、利用出来るケースのほうが少ないため、訪問支援先とより簡便にやり取りが出来れば、訪問支援で行えることが広げやすいと思われる。	・保育所等が連携を図りやすい方法を模索することで、連携を深める。連携が深まれば、児童への円滑な訪問支援につながり、訪問の質をより向上できると思われる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援を行えるスタッフが技術的・知識的な面で限られていること	・訪問支援に関する技術的、知識的な向上は現場に行くことで養われると思われるが、現場に行けるスタッフに限りがある状態で、十分な周知が行えていない。	・事業所内の支援が充足しているタイミングでは、様々なスタッフが訪問支援に同席することで、知識・技術的な力をつけていき、訪問支援員として支援ができるようになっていきたい。
2	・訪問支援で保育所等に対して、活用できるツールやそれらツールの提供の程度を確立できていない。	・訪問支援によって、各保育所等と連携を図ることはできるものの、対応している保育所によって提供出来る(すべきこと、して良いこと)ツールを見出すまでに時間を要する。間接的な支援において適宜助言等でお伝えすることは出来るが、現実的に解決する方法に至りにくい。	・上手くいったことや成功事例を積み重ねることで、どのタイミングでどのようなツールを提供することが、保育所等にとってベストか、適宜行えることで積み重ねる必要がある。
3			